

# ソーラー4輪自転車プロジェクト 広報ミッション 成果報告書

観光学部地域再生学科 2年 八木悠太

## ・活動の目的

当ミッションの目的は4輪自転車での長距離走行の成功や、イベントを企画することで、2人乗りをいかした楽しさを学生だけでなく、一般の方にも共有してもらうこと、またこの4輪自転車が将来、観光地で利用されるように、様々な調査を行うことである。そしてその活動をSNSやメディアを通じて発信し、より多くの人に私たちの活動を知ってもらう。次に活動に必要な資金を集めること、そのための資料やグッズを製作することを目的としている。

## ・活動内容

\* スポンサー



こちらは昨年スポンサーになっていただいた、株式会社キナン様である。昨年はソーラーパネルの提供を受けたが、その縁もあり今年度は、サイクルイベントにゲスト参加することができた。また北海道縦断においては1.5tトラックを20日ほど無償で貸していただき、大幅なコスト削減に成功した。現状として、スポンサーであるのに、学生側からのお返しがほとんどできていない状態である。今後は走行や活動報告の際には、もっと企業名を露出させるなど、企業にとってもメリットのあるよう改善していきたい。



## \*クラウドファンディング

今年度実施した北海道縦断に際して、約 30 万円活動資金が不足していることが分かった。この資金を獲得するために、クラウドファンディングを利用した。これはサイト上で個人、または団体のプロジェクトを投稿し、興味をもってくれた不特定多数の人から支援金を頂く仕組みのものである。プロジェクトの成功後にはリターンというお返しが必要となる。クラウドファンディングは 6 月に実施。30 日で周知活動を行い、多くの人に支援していただき、33 万円を獲得し、北海道縦断成功につながった。またリターンでは、パンフレット、ポストカード、カレンダーなど、プロジェクト独自のものを作成した。3 月の時点でリターンの返送は完了し、運営会社との契約も成立する見通しである。



## \*メディア

北海道縦断に際して多くのメディアに取り上げられた。そのおかげで沿道の方に応援していただくなど、広報活動以上の成果があった。



## ソーラー搭載、電動アシスト4輪車で北海道縦断

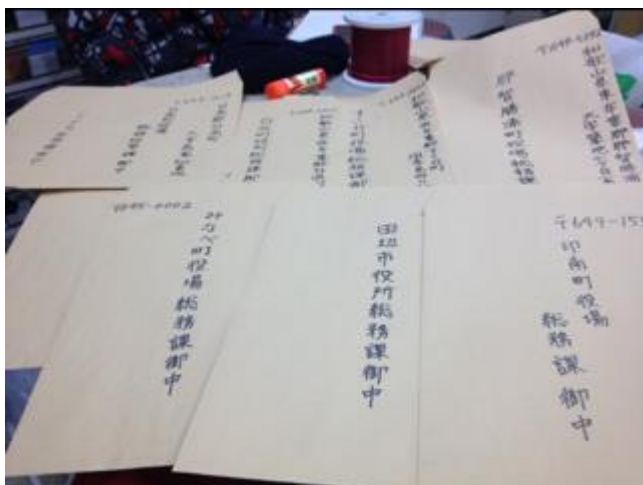
2015年09月28日 15時13分



宗谷岬に到着し、「日本最北端の地」の碑の前で、北海道縦断を喜ぶプロジェクトメンバー（27日夕、稚内市で）＝村田博明撮影

\*道路使用許可、走行通知

和歌山縦断と同じく北海道警察に連絡し、公道走行の許可をいただいた。また今回導入したアシストに関しては陸運局に確認していただいた。また走行ルートに入っている地域には事前に自治体に走行通知を送付しており、安全な走行ができるように心がけた。



写真は和歌山縦断の際のもの

\*イベント

今年度は白浜でのサイクリングイベント、はこだて未来大学、南紀熊野サテライトでの試乗体験を行った。すべて敷地内であったが、一般の方の意見をもとに今度は公道での走行を目指したい。



はこだて未来大学にて





白浜にて

#### \*まとめ

今年度のメインとなった活動は北海道縦断走行であるが、和歌山縦断時の反省点をいかしてアシストを取り付けたり、ルート設計を綿密に組んだり、前もって様々な広報活動を行うなどしたことで、全体的な成功率はかなり高い状態で走行に挑戦できたと考える。ただ作って走らすという事でなく、当ミッションが中心となり渉外などを行うことで、安全な活動につながっている。

また、今年度は1年生の加入して総勢23名の大きなプロジェクトとなった。広報系ミッションでは、対社会的に交渉や報告をする機会が多く、大人や企業との付き合い方も学べたのではないだろうか。

学内だけにとどまらない活動を今後も継続していきたい。

また今後は高野山での走行や、1年生だけの行うイベントがある。より活動の幅を広げていく為に、これまでの広報活動での経験をいかして観光地での走行を目指したい。

